

◆ 2017年第16週(4/17~4/23)の感染症発生動向(届出数)

■全数把握感染症の発生状況

- 1類感染症 なし
- 2類感染症 結核 (高松 3件)
- 3類感染症 腸管出血性大腸菌感染症(東讃 1件)
- 4類感染症 なし
- 5類感染症 梅毒 (高松 2件)

感染症予防の基本は **手洗い**から
調理時や食事の前、トイレの後は石けんと流水
でしっかり手を洗いましょう。



■定点把握感染症の発生状況 ☆ 比較は定点あたり的人数による

- 感染性胃腸炎(ウイルス)には、引き続き注意をお願いします。
調理や食事の前、トイレの後には石けんと流水でこまめな手洗いをこころがけましょう。
- インフルエンザの報告は減少傾向にあります、引き続き咳エチケットや手洗い等の注意をお願いします。

2017年第16週の感染症発生動向調査による報告患者総数は499人で、前週(513人)の97.3%となった。

1. 感染性胃腸炎(ウイルス)の報告は、県全体(9.9→10.1)で横ばいで推移している。西讃地区(23.0→11.8)は、警報レベル(20.0)を下回った。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告は、県全体(1.4→2.1)で増加している。
3. インフルエンザの報告は、県全体(1.6→1.6)で横ばいで推移している。
4. 流行性耳下腺炎の報告は、県全体(1.4→0.8)で減少している。西讃地区(3.8→1.8)、は注意報レベル(3.0)を下回った。
5. 咽頭結膜熱の報告は、県全体(0.4→0.4)で横ばいで推移している。

◆ 今週の上位疾患(小児科定点からの法定届出疾病)

疾患名	今週	前週	前週比	過去5週の平均	過去10年の平均	全県	高松市	小豆	東讃	中讃	西讃
① 感染性胃腸炎(ウイルス)	10.1人	9.9人	101.8%	9.4人	8.6人	○→	○↘	○↗	○↗	○↗	○↘
② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.1人	1.4人	150.0%	1.7人	1.1人	○↗	○↗	・↘	△↘	○↗	○↘
③ インフルエンザ	1.6人	1.6人	98.7%	3.1人	3.3人	○→	△↗	△↘	○↗	○↘	○↘
④ 流行性耳下腺炎	0.8人	1.4人	55.3%	1.1人	0.5人	△↘	△↘	・・	△→	○↘	○↘
⑤ 咽頭結膜熱	0.4人	0.4人	90.9%	0.4人	0.3人	△→	△→	・・	・↘	△→	○→

記号の説明 今週の流行状況: ◎流行(警報レベルに達している) ○やや流行 △散発 ・患者発生報告無し
前週との比較: ↑急増 ↗増加傾向 ↘減少傾向 ↓急減 →横ばい ・報告無し

◆ 病原微生物検出情報

細菌	検体	検体採取日	地区	臨床診断名	検出方法	検出数	備考
なし							

ウイルス	検体	検体採取日	地区	臨床診断名	検出方法	検出数	備考
Herpes simplex virus 1	咽頭	2017/3/26	東讃	A群溶連菌咽頭炎	遺伝子検査	1	
Herpes simplex virus 1	咽頭	2017/4/5	西讃	下気道炎	遺伝子検査	1	
Human metapneumovirus	咽頭	2017/4/8	東讃	下気道炎	遺伝子検査	1	
Human metapneumovirus	咽頭	2017/4/12	東讃	下気道炎	遺伝子検査	1	
Influenza virus A H3	咽頭	2017/4/11	中讃	インフルエンザA型	遺伝子検査	1	
Parainfluenza virus 3	咽頭	2017/4/11	西讃	下気道炎	遺伝子検査	1	
Rhinovirus	咽頭	2017/4/9	東讃	下気道炎	遺伝子検査	1	
Rhinovirus	咽頭	2017/4/14	東讃	下気道炎	遺伝子検査	1	
Rotavirus group A	糞便	2017/4/8	東讃	ウイルス性胃腸炎	遺伝子検査	1	
Rotavirus group A	糞便	2017/4/12	東讃	ウイルス性胃腸炎	遺伝子検査	1	

